コース：　　　　　コース　／　受講番号： 　　　　　　　　 　／　氏名：

事前課題①-1

**事例（水道橋　久さん）本人を知るための地図**

**★私は、今までこんな生活をしてきました。生き方をしてきました。**

**水道橋久さんの強み（ストレングス）の整理**

**※できるだけ多く、箇条書きで記入する※**

**【性格・人柄／個人的特性（正直、話し好き、繊細等）】**

**【技能、才能（できること、得意なこと、スキル等）】**

**【興味・関心・願望（本人が関心を持っていること、学びたいこと、モチベーションとなること等）】**

**【ご本人を取り巻く「環境面」で、ご本人のストレングスを強めるもの。友人がいる。親が協力的である。習い事をしてる、住まいがある、支援者がいる等）】**



**★私は今このような環境で生活をしています。**

★**私の不安や気にしていること、困り事は○○です。**

★**私が今、希望する暮らし、願いは○○です**

**★私の将来の夢・希望、暮らしは○○です**

コース：　　　　　コース　／　受講番号： 　　　　　　　　 　／　氏名：

事前課題①-2

**事例（水道橋　久さん）の100文字アセスメント**



|  |
| --- |
| 私（水道橋久）は・・・（　　　字） |

※100文字アセスメントについて

|  |  |
| --- | --- |
| 目的 | ・個別支援計画を作成する際、大切な事の１つとして「本人主体、本人目線」があります。しかし、作成をしていく段階で、知らぬ間に支援者目線や支援者主体となったり、課題克服の計画になってしまうことが起こり得ます。それを防ぐ方法として100文字アセスメントがあります。 |
| 活用方法 | ・ご本人の想いや核心を捉え、支援の軸（本質）を定めることにつながります。・ニーズ整理や個別支援計画を作成する際に迷ってしまった時には、100文字アセスメントに立ち返り考えてみます。 |
| 留意点 | ・ご本人の解決したい課題・困りごと等の「思い」を本人の視点で100文字程に要約、アセスメントします。・主語は「私」「僕」「俺」等で始めます。・アセスメントから知り得た情報（想い、夢、ストレングス、困りごと等）をご本人の言葉をそのまま使って作成します。※作成時に、本人の言葉を容易に変換してしまうと、その意味合いや想いまで変わってしまうため、本人の言葉はそのまま使います。 |

注意：以下は、**書き方の例**であり、事前課題の事例のものではありません。

（平成30年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修の資料より抜粋）

　　例① ぼくは、入院して10年目。日常家事はうまくできないけれど、退院後はお金を自由に使ったり、人を気にせず自分のペースで生活したいので、

アパートで一人暮らししたい。でも保証人もいないし・・・。それにどんな一人暮らしになるのかな？（108字。精神障害、統合失調症のある方）

　　例➁ 私は、病院や施設に入らずに自宅で介助者のサポートを受けながら生活していきたい。でもこのままだと夫の体調やお金の負担も心配。だれか

私を介助してくれる人が来てくれないかしら・・・。（87字。身体障害、肢体不自由のある方）